

## 平成 30 年度 野生鳥獣被害対策の主な取組について

## I 捕獲対策

## 1 捕獲者の確保・育成対策

## (1) ハンター養成学校の開校等 林務部

事業名	事業内容	事業主体	H29 実績	H30 予算
ハンターデビュー支援事業	ハンター養成学校を開校し、捕獲への参加意欲を持つ方を募集して、狩猟免許・猟銃許可の取得や捕獲に関わる様々な知識の習得支援を行う。	県	修了者数 35 名 1,938 千円	募集予定数 70 名 4,353 千円
高度技術者育成事業 <sup>⑧</sup>	適切で持続的な捕獲ができる高度捕獲技術者の要件、育成プログラムの検討等	県	—	検討会議他 1,000 千円

## (2) 銃猟者の確保・育成対策 県警本部 林務部

事業名	事業内容	事業主体	H29 実績	H30 予算
猟銃等講習会の開催	新たに銃を所持しようとする方や既に所持している方が受講する講習会の開催	県警察本部	修了者数 初心者 187 名 (6 回)、経験者 1,074 名 (33 回) 1,033 千円	初心者対象 6 回、経験者対象 33 回 1,042 千円
銃猟者確保・育成支援事業 <sup>⑧</sup>	新規銃猟者による銃砲所持許可の取得や捕獲従事者として必要な射撃技術向上の取組を促進する。	市町村協議会	—	27 名程度 330 千円

## 2 効果的な捕獲対策

## (1) ニホンジカ捕獲強化事業 林務部

事業名	事業内容	事業主体	H29 実績	H30 予算
高度捕獲技術を活用した捕獲の推進	新たな捕獲技術を用いた効率的な捕獲の実証調査を実施する。	県 (委託)	伊那市長谷 4,622 千円	八ヶ岳地域 5,000 千円
実施計画策定に必要な調査及び評価	指定管理鳥獣捕獲等事業計画を策定するための基礎調査や評価を実施する。	県 (委託)	八ヶ岳地域等 7,182 千円	八ヶ岳地域 5,000 千円
分布拡大地域での行動調査	分布が拡大している中央アルプス山麓等において、効率的な捕獲に向けた GPS 機器等による行動調査を実施する。	県 (委託)	大桑村、伊那市、塩尻市等 1,892 千円	大桑村 2,000 千円

(2) 鳥獣被害対策実施隊の強化 **林務部**

事業名	事業内容	事業主体	H29実績	H30予算
鳥獣被害対策実施隊強化事業	「鳥獣被害対策実施隊」や「集落等捕獲隊」が行う捕獲に対する経費	市町村協議会	33市町村 11協議会 4,498千円	34市町村 12協議会 4,373千円

(3) 鳥獣被害防止緊急捕獲活動への支援 **林務部** **農政部**

事業名	事業内容	事業主体	H29実績	H30予算
鳥獣被害防止緊急捕獲活動支援事業	市町村が策定する「緊急捕獲等計画」に基づき行う有害鳥獣捕獲活動等への支援を行う。	協議会又はその構成員である市町村	シ 15,813頭 イ/シ 2,599頭 その他鳥獣 3,901頭 150,425千円	シ 15,200頭等 140,487千円
鳥獣被害防止総合対策交付金(推進事業)	集落ぐるみの捕獲へのワナ購入などの支援	協議会等	32協議会 48,732千円	32協議会 56,166千円

## II 防除対策

1 農業被害を防ぐ侵入防止柵の設置 **農政部**

事業名	事業内容	事業主体	H29実績	H30予算
鳥獣被害防止総合対策交付金(整備事業)	集落ぐるみの防除対策の支援や侵入防止柵の整備	協議会等	23協議会(防護柵 41.1km) 82,917千円	15協議会(防護柵 25km) 58,900千円

2 造林木樹皮剥ぎ防止対策の実施 **林務部**

事業名	事業内容	事業主体	H29実績	H30予算
野生鳥獣被害防止対策事業	獣による樹皮剥ぎ防止テープ巻き等実施への支援等	市町村森林組合等	実施面積 460.7ha 40,848千円	要望面積 628ha 64,660千円

3 忌避剤による植生の食害防止の検討 **環境部**

事業名	事業内容	事業主体	H29実績	H30予算
草原環境保全対策モデル事業	ニホンジカの植生被害防止に向けた忌避剤の面的散布効果の実証試験	県	諏訪市霧ヶ峰 416千円	諏訪市霧ヶ峰 422千円

### Ⅲ 生息環境対策

#### 1 鳥獣が出没しにくい環境づくり（緩衝帯の整備等）

農政部

事業名	事業内容	事業主体	H29実績	H30予算
鳥獣被害防止総合対策交付金(推進事業)	緩衝帯の整備	協議会	12 協議会 (緩衝帯 33.4ha) 14,250千円	11 協議会(緩衝帯 56.1ha) 15,683千円

#### 2 河畔林等の整備（流木等の災害防止、鳥獣の移動経路の阻害）

建設部

事業名	事業内容	事業主体	H29実績	H30予算
河畔林整備事業（森林づくり県民税活用事業）	河畔林等の整備	県市町村	—	県9箇所、市町村15箇所 112,500千円

### Ⅳ ジビエ振興対策

#### 1 信州ブランドとしてのジビエ振興

林務部

事業区分	事業内容	事業主体	H29実績	H30予算
流通体制整備 <sup>㊦</sup>	<ul style="list-style-type: none"> <li>信州ジビエの需要増加と安定的な市場流通を図る信州ジビエコーディネーターの設置</li> <li>解体加工技術講習会の開催等</li> </ul>	県	—	コーディネーター2名、講習会1回等 4,611千円
活用促進 人材育成 <sup>㊦</sup>	<ul style="list-style-type: none"> <li>信州ジビエのための大型イベント開催、首都圏PR活動等の実施</li> <li>加工品の開発等支援</li> <li>飲食店と食肉処理施設のマッチングによる直接供給モデル構築等</li> </ul>	県(委託)	イベント7回 飲食店とのマッチング3店舗等 9,527千円	イベント4回、PR活動2回、加工品開発支援10品目等 6,156千円
	<ul style="list-style-type: none"> <li>県内で捕獲された食肉用個体の放射性物質のモニタリング調査等</li> <li>信州ジビエを県内外に強く発信できるマイスターの養成とステップアップ講座の開催等</li> </ul>	県	モニタリング456検体(緊急検査、検査機器購入含)、マイスター16名認定等 6,817千円	モニタリング493検体、マイスター養成15名等 3,421千円

## V 野生鳥獣生息状況調査等

### 1 カモシカ生息状況調査等 **林務部**

事業名	事業内容	事業主体	H29 実績	H30 予算
ニホンカモシカ生息状況調査 <sup>㊦</sup>	第二種特定鳥獣管理計画策定(H31)のため、全県的な分布、生息等の動向を調査する。	県 (委託)	—	全県 11,169 千円
カモシカ個体群動向調査	特別天然記念物カモシカの捕獲個体を調査・分析し、個体群の動向を把握するとともに、捕獲することによる個体群への影響を把握する。		実施頭数 120 頭 4,320 千円	個体数調整にあわせて実施 5,220 千円

### 2 外来生物の重点対策区域検討のための分布調査等 **環境部**

事業名	事業内容	事業主体	H29 実績	H30 予算
対策方針検討事業	特定外来生物（アライグマ等） ・アライグマ分布調査 ・特定外来生物（アライグマ等）解剖分析等	県	アンケート調査(全県) 364 千円	—
		県 (委託)	解剖分析(アライグマ 3 頭、ミンク 10 頭等) 797 千円	捕獲個体解剖分析(アライグマ等)、H29 アンケート調査結果分析等 2,122 千円

## VI その他

### 1 野生鳥獣による人身被害防止に向けた普及啓発 **観光部** **教育委員会**

事業名	事業内容	事業主体
観光客等への注意喚起	県下 10 地域の観光客安全対策推進機関を通じた啓発活動（観光リフト乗り場、キャンプ場等）	県
児童・生徒、教諭、保護者への注意喚起・啓発	学校における啓発ポスターの掲示、チラシの配布 県内学校の各校長会での周知 通学路安全対策等の PTA 地域活動への協力支援 研修会（学校事故対応や通学路安全）での周知 安全担当教諭を対象とした学校安全教室講習会	県